

제16권 佛教美術 I (佛像)

高裕燮, 「佛教美術에 對하여」, 『東國史學』 4, 1956.	1
文明大, 「韓國佛教美術의 特殊性和 普 生 佛像彫刻을 中心으로, 오늘에 있 는 佛敎의 美學的 問題와 韓國美術史의 反省」, 『弘益美術』 3, 1974.	19
韓成熙, 安喜均, 「石造文化財의 生物學的 損傷要因과 保存對策」, 『문화재』 23, 문화재관리국, 1990. 12.	31
曹元榮, 「釜山の 古美術-佛教美術資料를 中心으로-」, 『港都釜山』 第13號, 釜 山廣域市史編纂委員會, 1996. 12.	41
이기선, 「한국불교미술학 정립을 위한 시론」, 『한국문화의 전통과 불교』(蓮 史洪潤植教授停年退任紀念論), 2000. 2.	107
金和英, 「韓國佛像 臺座形式의 研究-金銅佛을 중심으로-」, 『李弘植博士 回甲 紀念 韓國史學論叢』, 1969. 10.	123
文明大, 「韓國佛像의 佛身姿勢에 對한 試論」, 『文化財』 제12호, 문화재관리 국, 1979. 10.	145
權煥耕, 「誕生佛小考-慶北大學校 博物館所藏의 두 作品과 對馬島에서 發見된 作品들을 중심으로-」, 『慶北大 論文集』 제31집, 경북대, 1981.	153
李基善, 「금동탄생불상에 대하여 : 특히 湖林博物館所藏의 대좌를 중심으로 」, 『초우 황수영박사 고회기념 미술사학 논총』 1988. 6.	169
姜友邦, 「韓國毘盧遮那佛像의 成立과 展開-圓融의 圖像의 實現-」, 『美術資料』 44, 1989. 12.	179
文明大, 「智拳印毘盧遮那佛의 成立問題와 石南巖寺毘盧遮那佛像의 研究」, 『佛教美術』 11집, 동국대박물관, 1992. 12.	245
林玲愛, 「호탄(KHOTAN, 干) 라와(RAWAK) 寺院址 塑佛像의 研究」, 『美 術史學研究』 198, 한국미술사학회, 1993. 6.	281
張俊植, 「忠州博物館 所藏 金銅如來立像에 관한 小考」, 『예성문화』 14호, 예 성동호회 : 충주, 1993. 10.	317

文明大, 「毘盧遮那佛의 造形과 그 佛身觀의 研究 : 毘盧遮那佛像 研究(1)」, 『李基白先生古稀紀念 韓國史學論叢[上]』(古代篇· 高麗時代篇), 1994. 10.	327
姜友邦, 「石窟庵 佛教彫刻의 圖像의 考察」, 『美術資料』 제56호, 國立中央博 物館, 1995. 12.	355
白南珠, 「金剛力士像의 成立과 展開」, 『美術史學研究』 208, 韓國美術史學會, 1995. 12.	403
文明大, 「毘盧遮那三神佛圖像의 形式과 祇林寺 三身佛像 및 佛畫의 연구」, 『佛教美術』 15(特輯 : 祇林寺의 佛教美術-), 東國大學校 博物館, 1998. 2.	429
鄭永鎬, 「日本 對馬島의 韓國佛像 新例」, 『역사교육논집』 13·14(서연김영하 교수정년퇴임 기념사학논총), 역사교육학회: 대구, 1990. 2.	453
鄭永鎬, 「日本佛像에 보이는 韓國文化의 影響」, 『고고미술』 185, 한국미술사 학회, 1990. 8.	467
金英愛, 「在日 韓國佛像의 研究現況」, 『강좌미술사』 4호, 한국미술사연구소, 1992. 6.	499
崔在錫, 「在日本 古代金銅佛과 그 製作國」, 『韓國學報』 제88집, 一志社, 1997. 9.	519
崔聖銀, 「杭州 煙霞洞石窟 十八羅漢像에 대한 研究」, 『미술사학연구』 190· 191, 한국미술사학회, 1991. 9.	555
崔應天, 「佛會寺 羅漢像 出土 遺蹟 發掘調査 報告-500羅漢像片의 樣式 考察 을 中心으로-」, 『美術資料』 제54호, 국립중앙박물관, 1994. 12.	587